

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	公民	科目	公共	学年	第 5 学年	類型	共通
単位数	2 単位	教科書	高等学校 改訂版 公共（第一学習社）				
副教材							

学習目標	社会に関する基本的な問題を多面的・多角的にとらえて、グローバル化の進展を視野に入れながら学んでいきます。 社会事象について考察する基本的な枠組みを習得し、国際社会や地域社会で起こる諸課題の解決に主体的に参画する能力を育てます。 国際社会や地域社会に対する関心を高め、良識ある公民として必要な能力と態度を養い、公共性や主体性などの人格の形成を目指します。
学習の方法	教科書を活用しながら、現代社会の事象を倫理・政治・経済・国際社会など多様な角度から理解していきます。 用語の名称を単に暗記するのではなく、現代の諸課題を自分自身の課題に置き換えて、主体的に学習に取り組むことで考察を深めます。 年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、知識の整理をはかります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る私たち 第2章 公共的な空間における人間としての在り方 第3章 公共的な空間における基本的原理	青年期やキャリア形成について学び、人間としてのあり方生き方を考察します。 環境問題や生命倫理について学び、幸福・正義・公正などに着目して選択や判断の基盤となる倫理的価値を考察します。 民主主義の基本原理を学び、個人と国家、社会の関係から自己のあり方・生き方と民主主義がどのように関係しているかを学びます。
2学期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 第2章 政治的な主体となる私たち 第3章 経済的な主体となる私たち	法や規範の意義と役割について学び、法の下で権利や自由が保障、実現されるとともに、社会の秩序が形成、維持されることを理解します。現代社会の課題と結びつけながら、どのようにすれば公平・公正な調整が可能となるかについて考察します。 選挙のしくみや政党の役割、世論の形成について学び、選挙の意義や主権者としての政治参加について考察します。 公正かつ自由な経済活動を通して、資源の効率的な配分が行われることや市場経済における仕組み、国民福祉における政府の役割などについて学びます。
3学期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な地域、よりよい国家や社会の構築、及び平和で安定した国際社会の形成にむけて、現代の諸課題を基に、幸福・正義・公正などに着目し、多面的・多角的に考察します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	公民	科目	倫理	学年	第 6 学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2 単位	教科書	高等学校 新倫理 新訂版（清水書院）				
副教材	倫理ノート（第一学習社）						

学習目標	青年期における心身の特徴を把握し、青年期の課題克服の方法について学び、良識ある公民として必要な能力と態度を育みます。 人生における哲学、宗教、芸術の持つ意義について理解し、人間としての在り方生き方について考えを深めていきます。 日本の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自分との関わりを理解し、日本人としての自覚を促します。 現代の倫理的課題について学び、よりよい社会を主体的に形成しようとする意欲と態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に教科書、図説、プリントを活用して、青年期の課題の特徴、古代から近現代にわたる世界の思想・宗教、日本の思想・文化について整理・理解していきます。 人名や用語の名称を単に暗記するのではなく、様々な宗教・思想が何を問題と考え、どのような答えを見いだしてきたかを、自分自身の課題と重ね合わせて考えることで思索を深めます。 年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックを活用して知識の整理を図ることが必要です。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	第1章 青年期の課題と自己形成	青年期の特徴と発達課題について学びます。
	第2章 人間としての自覚	ギリシャ思想・世界三大宗教・中国思想におけるものの見方・考え方を理解し、自分たちにとってどのような意味を持つのかを考えます。
	第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	日本の風土や伝統、外来思想とその受容の大きな流れを学び、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について考えます。
	第4章 現代に生きる人間の倫理	近現代の思想を、自分自身の課題と重ね合わせながら理解を深めます。
2 学 期	第5章 現代の諸課題と倫理 演習	生殖医療・遺伝子操作・脳死臓器移植・末期医療・地球環境問題を、多面的・多角的に考察します。大学入試センター試験の過去の問題を利用して、学習した内容を確認し、理解を深めます。
3 学 期	大学入学共通テストへの対策	進路目標の実現を図るため、大学入学共通テストへの対策を行います。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	公民	科目	政治・経済	学年	第6 学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2 単位	教科書	高等学校 政治・経済（清水書院）				
副教材	最新政治・経済資料集 新版（第一学習社）・ニューコンパス（とうほう）						

学習目標	現代社会の基本的な問題を多面的・多角的にとらえて、グローバル化の進展を視野に入 れながら学んでいきます。 現代社会を考察する基本的な枠組みを習得し、様々な問題に対して公正に判断する能力を育てていきます。 現代社会に対する関心を高め、良識ある公民として必要な能力と態度を養い、主体的に問題に取り組む人格の形成を目指します。
学習の方法	授業を中心に教科書や資料集・プリントを活用しながら、現代社会の事象を政治・法・経済・国際社会など多様な角度から理解していきます。 用語の名称を単に暗記するのではなく、現代の諸課題を自分自身の課題に置き換えて、主体的に学習に取り組むことで考察を深めます。 年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックを活用して知識の整理をはかります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学 期	第1編 現代日本の政治・経済 第1章 現代政治のしくみと日本 第2章 現代経済のしくみと日本	基本的人権の獲得の歴史を学習し、民主主義の精神を身に付けていきます。 日本国憲法・国会・内閣・裁判所・地方自治についての基本的な知識を定着させます。 市場経済の基本的な仕組みを理解し、財政・金融の機能と役割について学習をすすめ、労働・消費者問題など日本が抱える経済問題について思索します。
2 学 期	第3章 現代日本の諸課題 第2編 現代の国際政治・経済 第1章 現代の国際社会と政治	主権国家と国際法を学び、冷戦終結後の国際社会における国連の役割や地域紛争・領土問題について身近な問題と関連付けながら主体的に考察を深めます。
3 学 期	第2章 現代の国際社会と経済 第3章 国際社会の諸課題	貿易の仕組みを学び、自由貿易のあり方や地域的経済統合などについて理解を深めます。

備考	
----	--